



今月の本

「新釈現代文」

著：高田瑞穂／筑摩書房



かつて“伝説の大学受験国語参考書”と呼ばれた一冊。ここに書かれていることさえ理解できれば、東京大学合格もまちがいなと言われていました。この参考書を通して、論述の展開を正確に“追跡”する意識とテクニックが身につきます。いくつかの評論文が例題として掲載されていますので、問題を解きながら読み進めていきましょう。

「好奇心の芽」

「わたしの勉強時代」(↓16ページ)にご登場いただいた長谷部勇一先生が、高校1年生の3学期に出会った参考書が復刊されています。先生は今でも、論理立てて文章を書く際に参考にされています。国語の成績が伸び悩んでいる人、文章の意図を汲むことが苦手な人は、一度手に取ってみてはいかがでしょうか。



1959年に刊行された参考書で、難しい印象を受けるかもしれないけれど、じっくりと噛み砕いて読めば大丈夫。国語力を鍛えてみよう!



好奇心を激写!

関塾生 投稿コーナー

このコーナーでは、関塾生の皆さんが撮った写真の投稿をお待ちしています。教室名・氏名・ペンネーム(イニシャルでもOK)・写真についての説明を添えてメールで送ってください。採用された方には、記念品をお送りします。投稿お待ちしております!

宛先はこちら
kj-times@kanjuku-net.co.jp

「鮮魚市場に見学に行きました。いろんな形をした魚がいて、びっくりしました。図鑑などで、魚の種類について調べてみたいと思います」サカナ◎さん、ありがとうございます! 海には、いろんな種類の魚がいることを知ることができたみたいです。いい体験ができましたね!
※身近な写真をメールで送ってください。メールでうまく送れない時は、画像が大きすぎないか確認しましょう。写真を投稿ハガキに貼ってもOKですよ。講師の方からの投稿もお待ちしております!



大阪府 Dr.関塾豊島公園前校 サカナ◎さん

気になる色や形をした草花や虫、町で見かけた面白い物、思いがけず発見した驚きの事実など、皆さんの「好奇心」につながった写真を教えてください!